

2023年度卒業生アンケート調査(結果)

このアンケートの目的は、学生が本学での学びを経て、どのような知識・能力を伸長させたかを可視化するとともに、大学内容への満足度等、卒業時点における本学に対する評価を把握することにあります。

1 回収率

学科	卒業生数	回収数	回収率
総合機械/製造	117	104	88.9%
建設	146	127	87.0%
計	263	231	87.8%

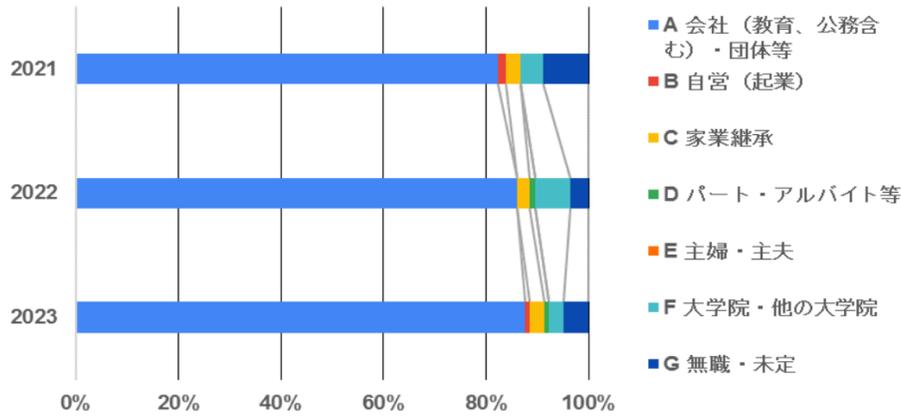
* Web方式導入後の回収率

年度	総機/製造	建設	計
2019	56.2%	54.3%	53.8%
2020	67.1%	64.0%	65.0%
2021	70.8%	70.0%	70.3%
2022	92.5%	92.5%	92.5%

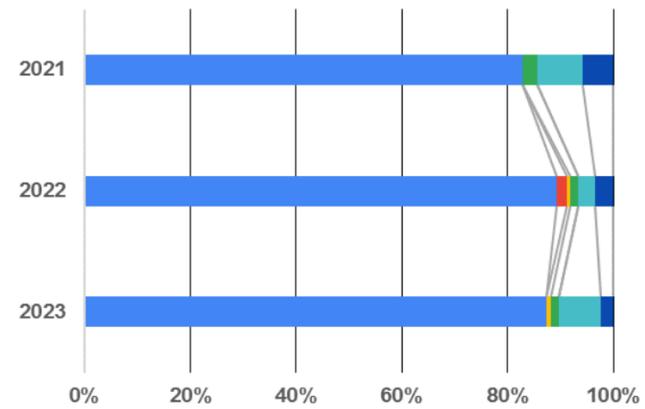
2 アンケート結果

Q1 卒業後の進路は次のどれに該当しますか

Q1 総合機械

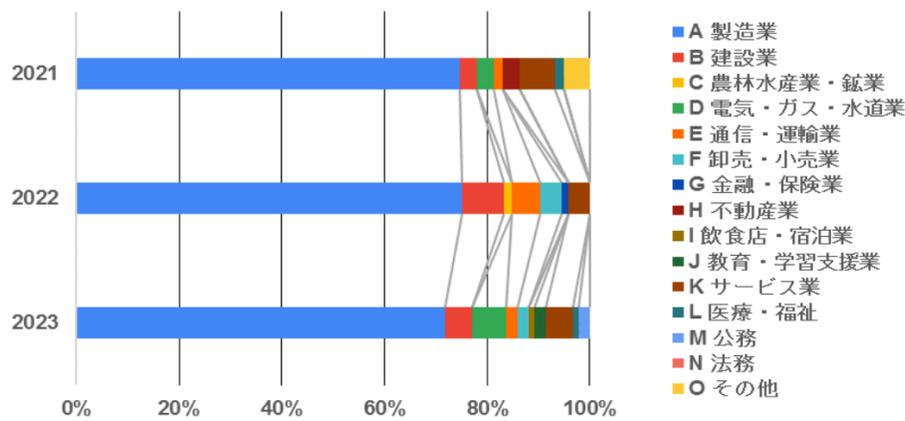


Q1 建設

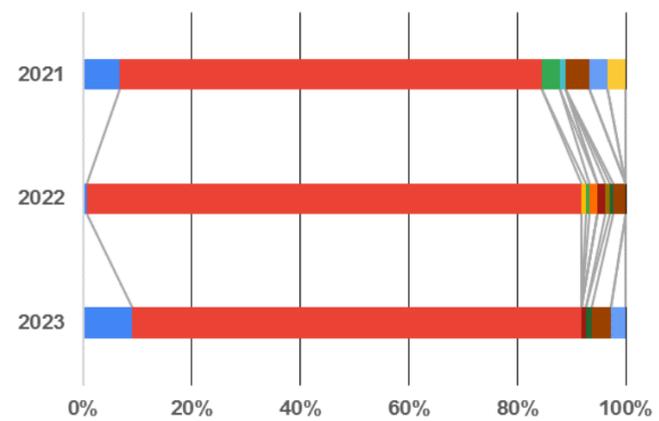


Q2 卒業後の仕事の業種は何ですか

Q2 総合機械

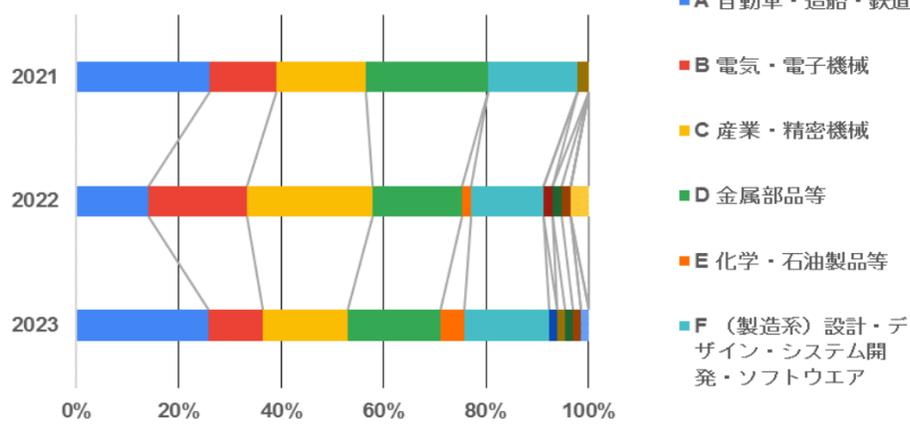


Q2 建設

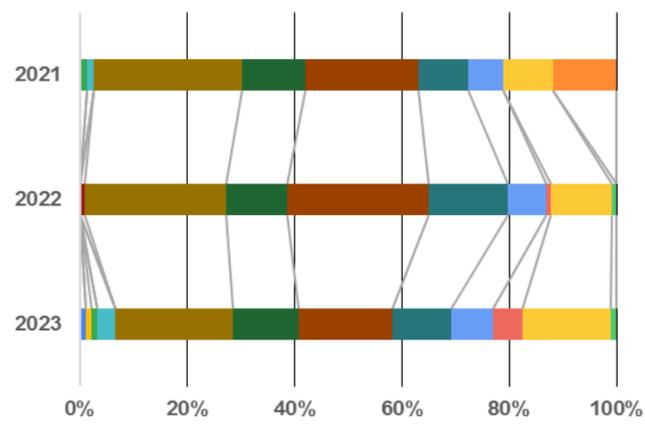


Q3 次のうち、該当する業種は何ですか。

Q3 総合機械

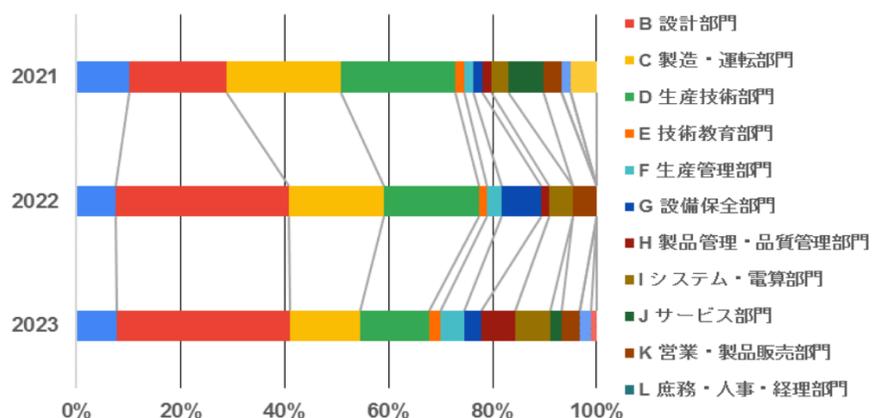


3Q 建設

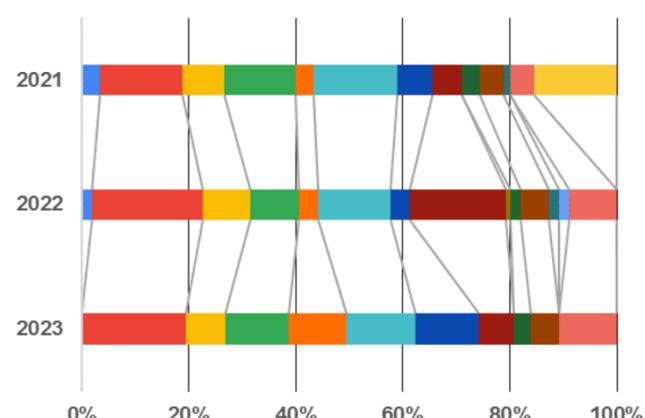


Q4 卒業後の仕事の業務内容は何を予定していますか

Q4 総合機械

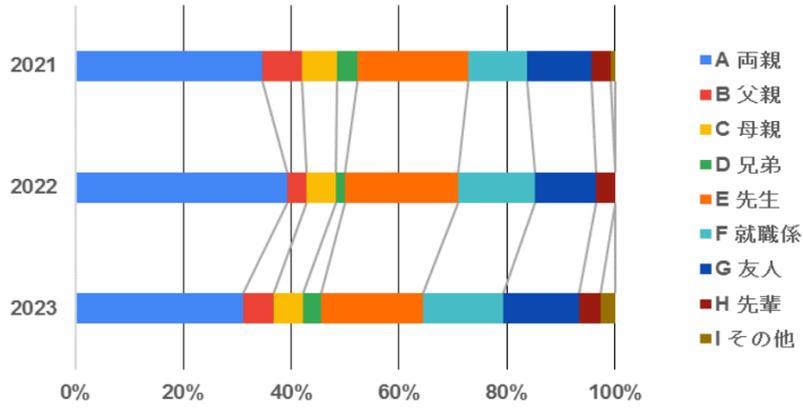


Q4 建設

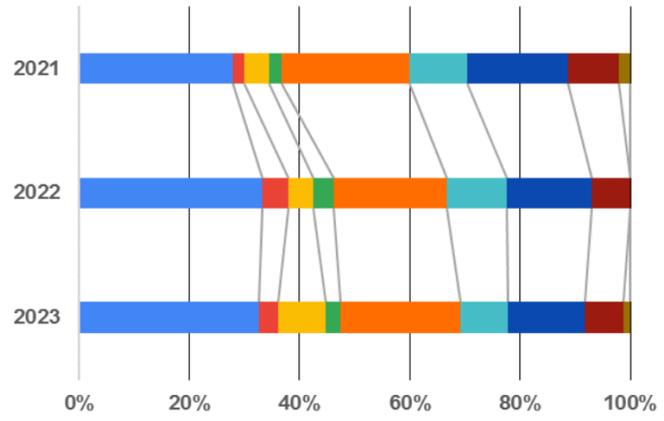


Q5 卒業後の進路について誰に相談しましたか（複数回答可）

Q5 総合機械

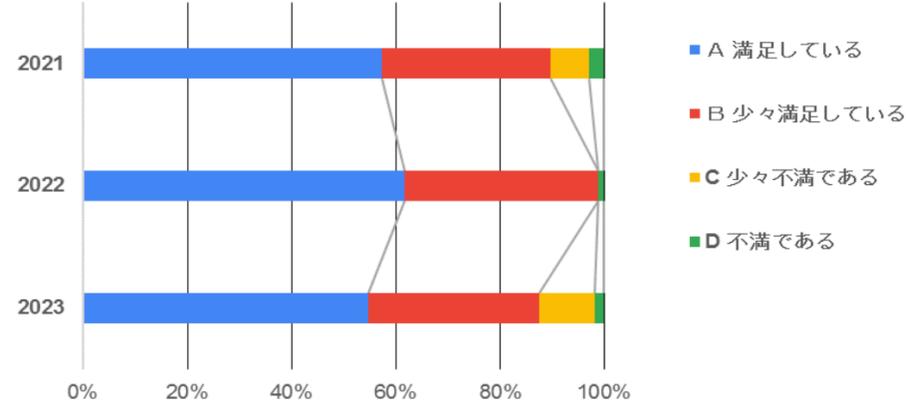


Q5 建設

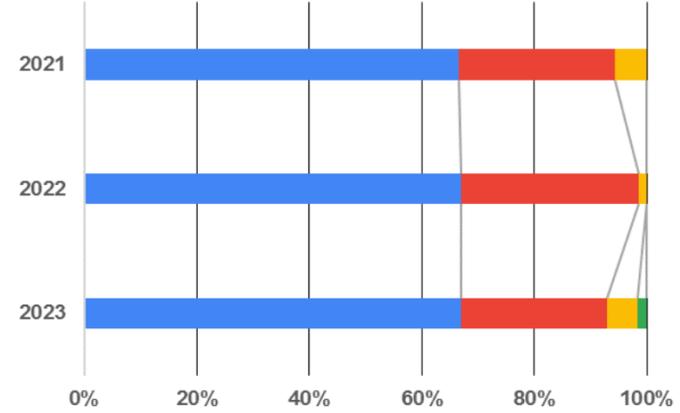


Q6 現時点（卒業時）の満足度はどうですか

Q6 総合機械

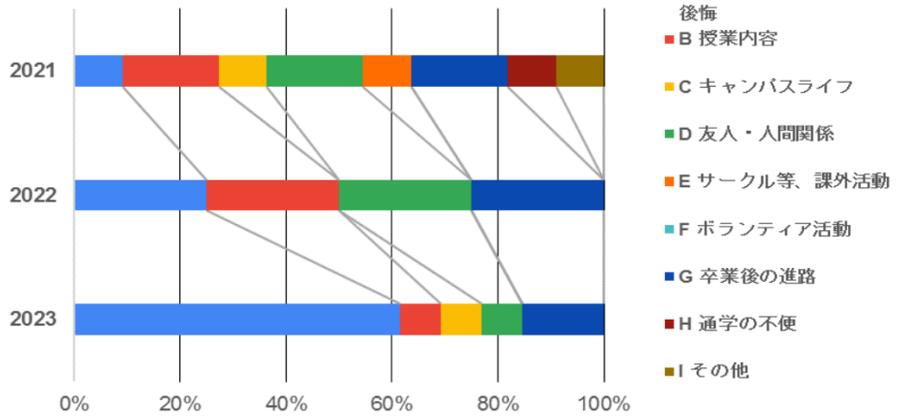


Q6 建設

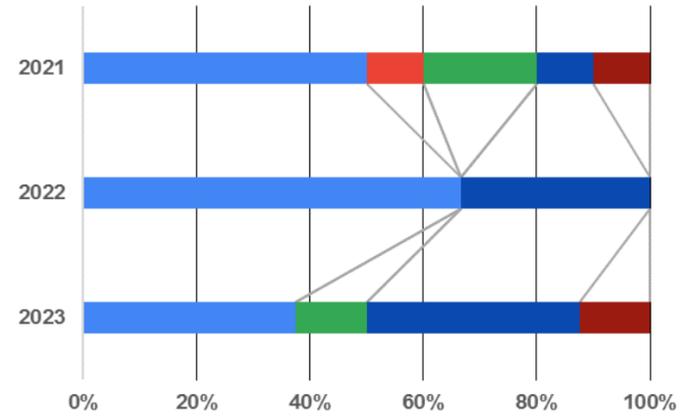


Q7 不満の要因は何ですか（複数回答可） *Q6で「少々不満である」「不満である」回答した総合機械/製造9人、建設8人の回答

Q7 総合機械

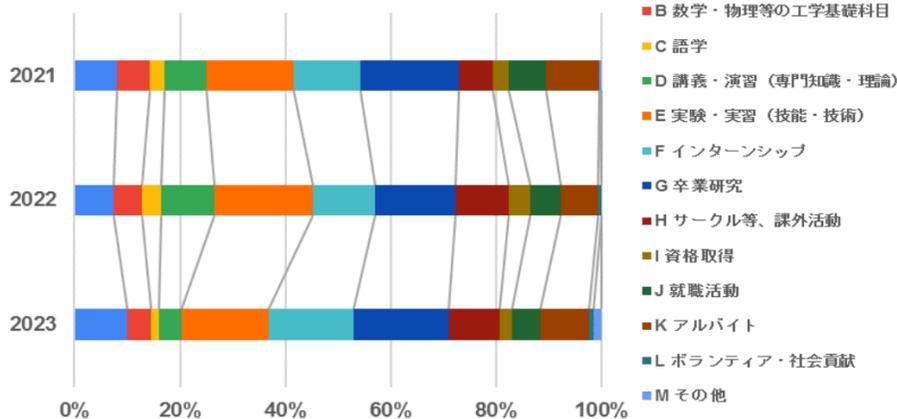


Q7 建設

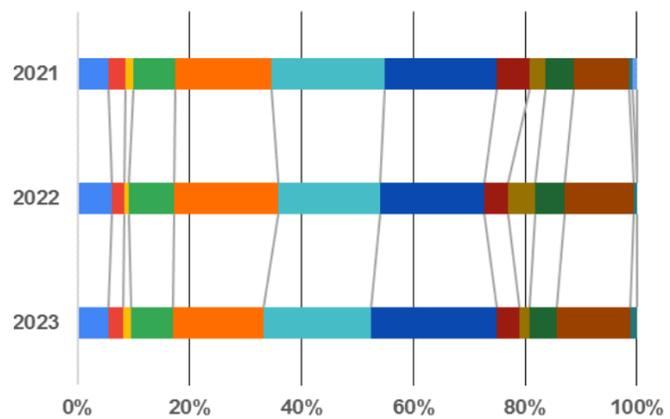


Q8 大学在学中に最も熱心に取り組んだことは何ですか（複数回答可）

Q8 総合機械

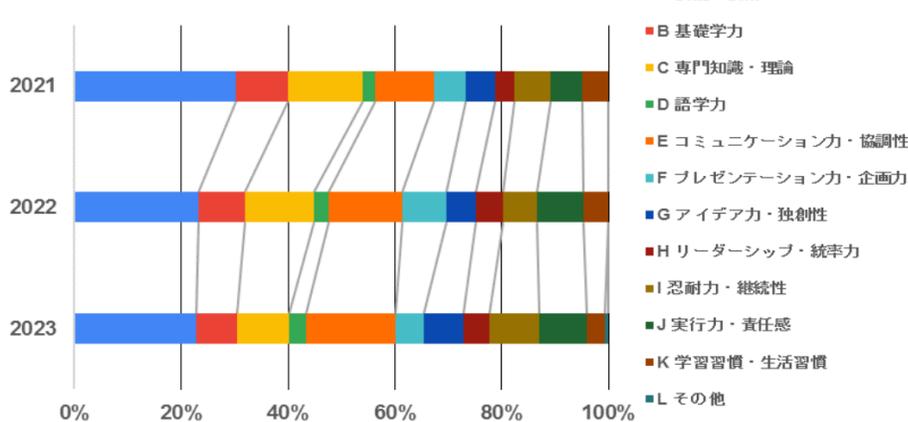


Q8 建設

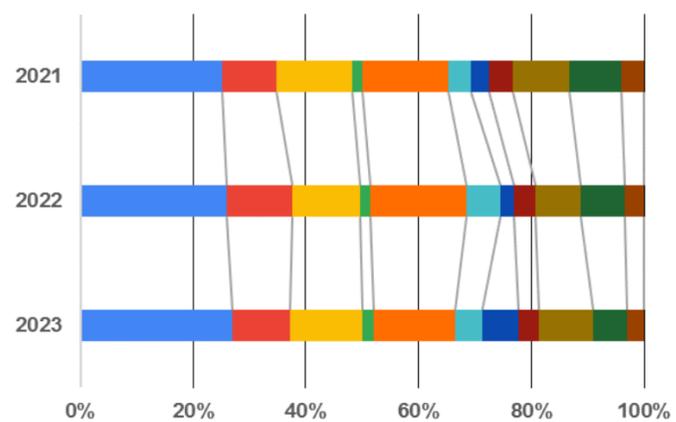


Q9 大学在学中に最も身についた能力、あるいは将来役立つと思う能力は何ですか（複数回答可）

Q9 総合機械

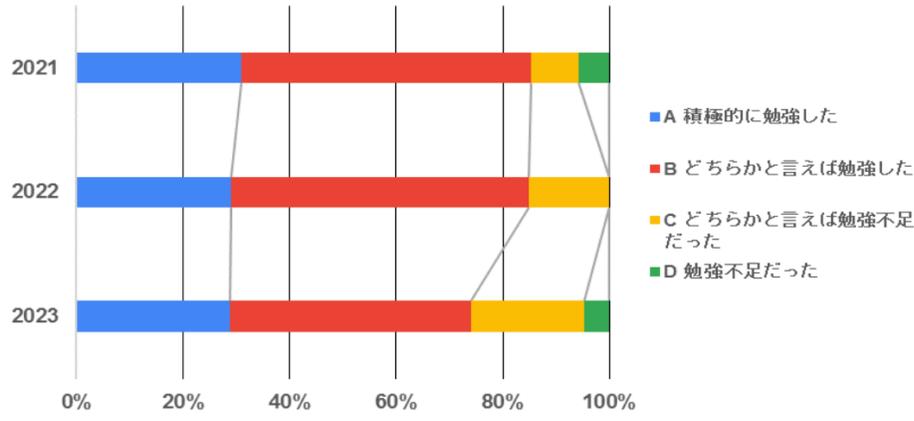


Q9 建設

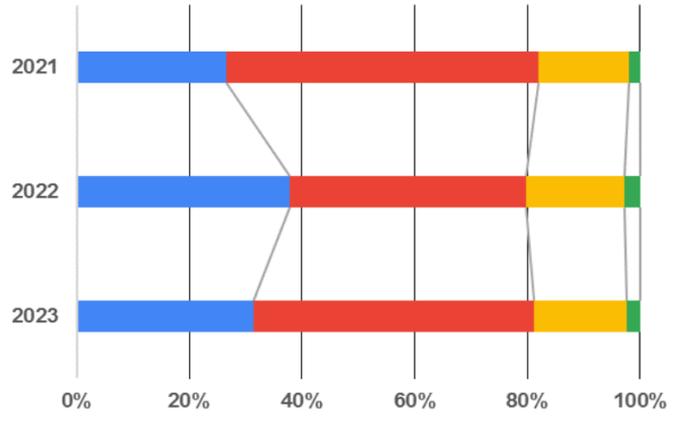


Q10 大学在学中の授業、勉強への姿勢はどうでしたか

10Q 総合機械

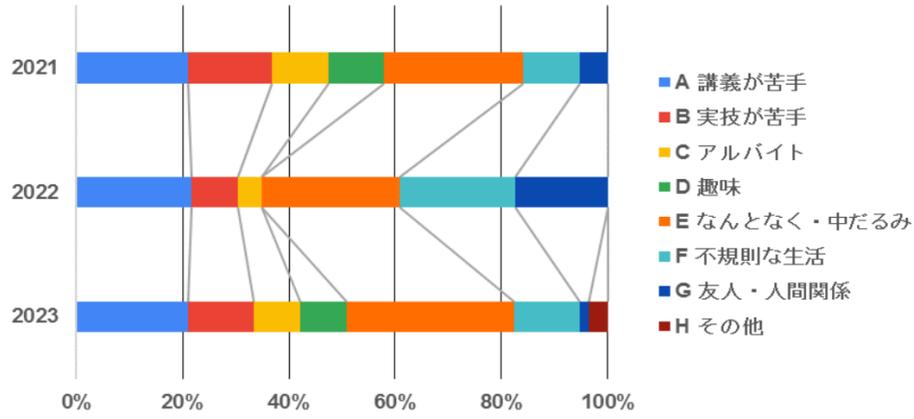


Q10 建設

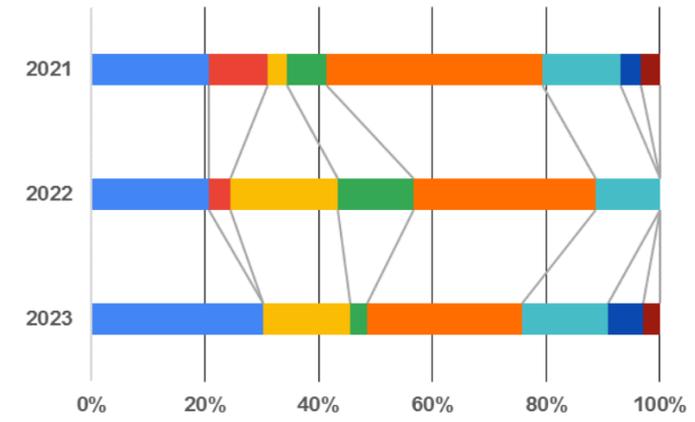


Q11 勉強不足だった理由（きっかけ）は何ですか（複数回答可）

11Q 総合機械

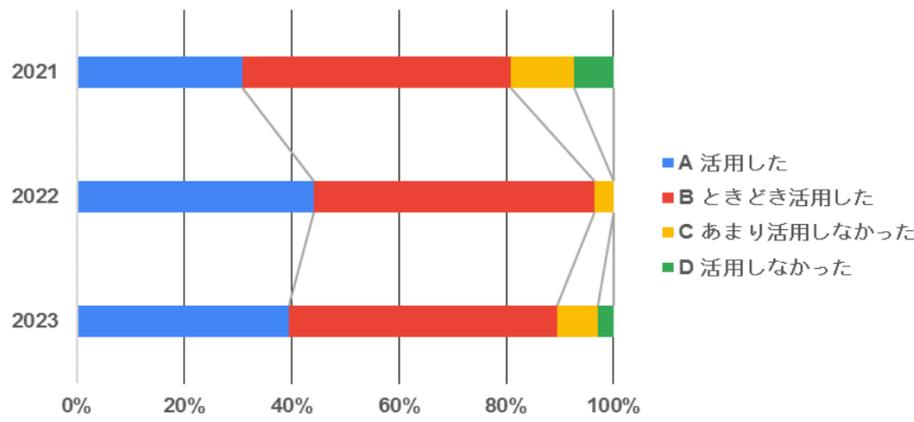


Q11 建設

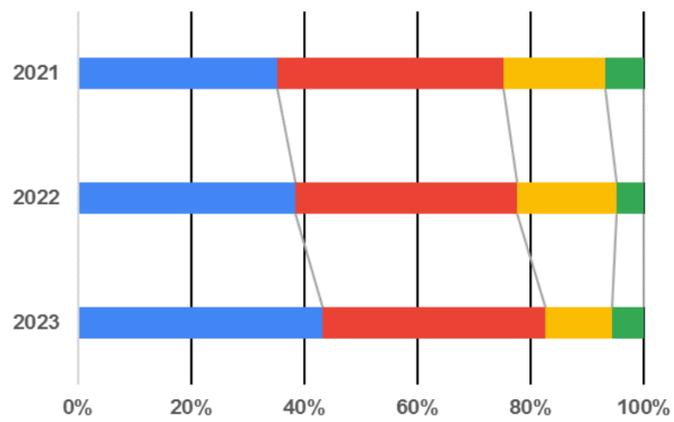


Q12 シラバス・履修要項の活用について

Q12 総合機械

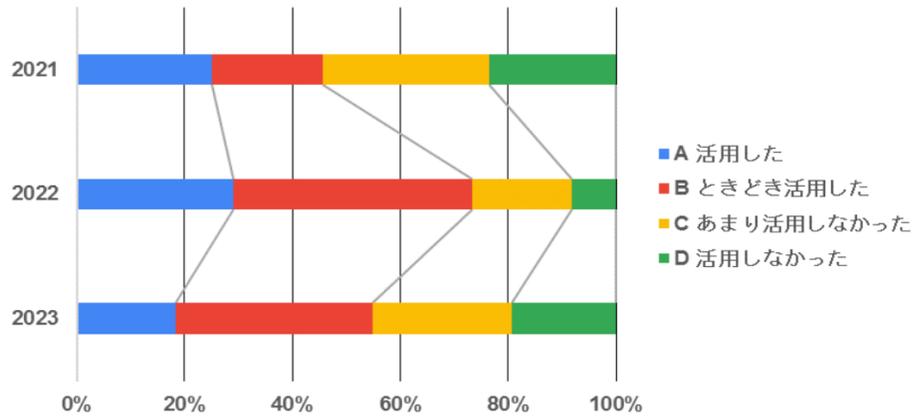


Q12 建設

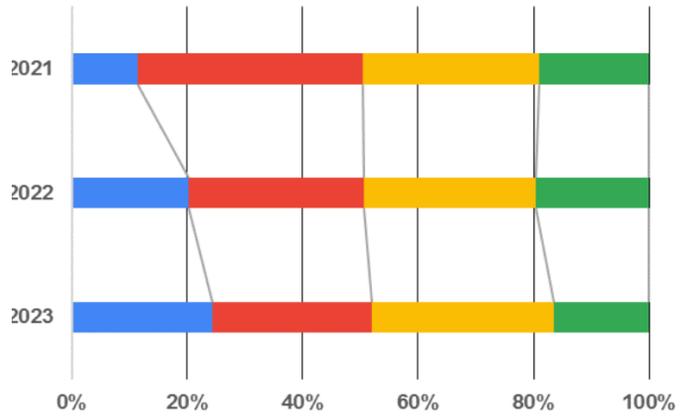


Q13 学生生活ガイド(学生便覧)の活用について

Q13 総合機械

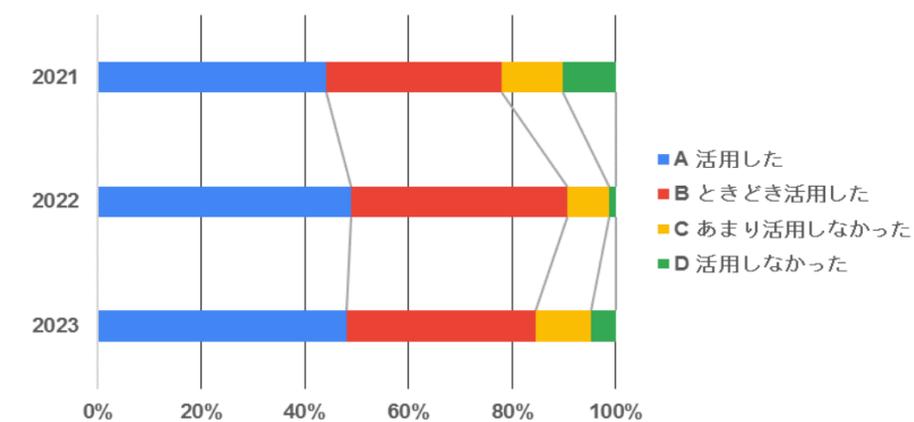


Q13 建設

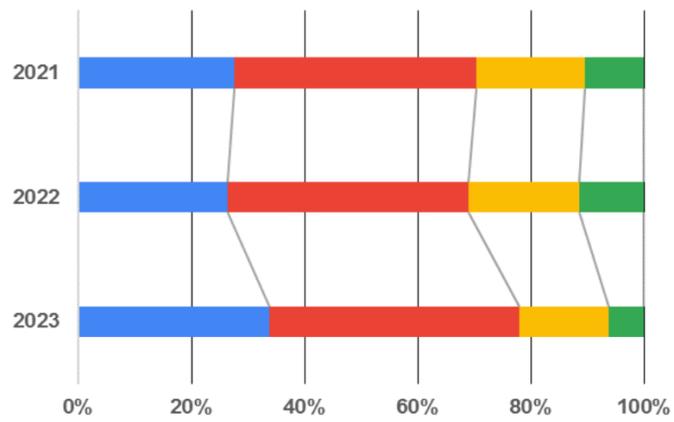


Q14 本学のホームページの活用について

Q14 総合機械

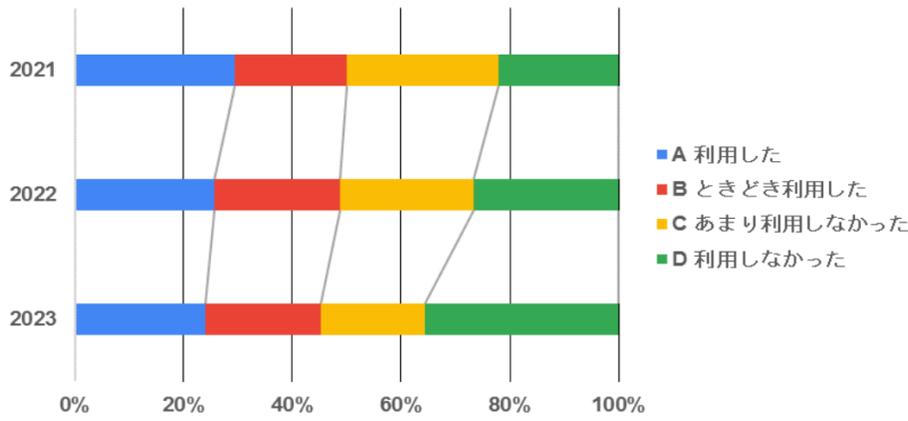


Q14 建設

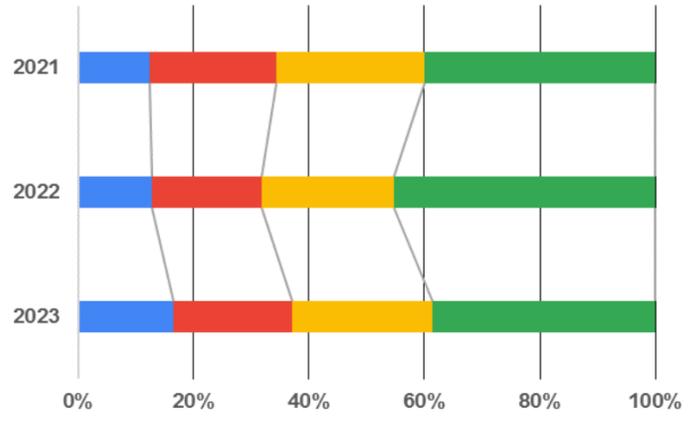


Q15 学生相談（ふれあいルーム、担任・先生、事務窓口等）について

Q15 総合機械

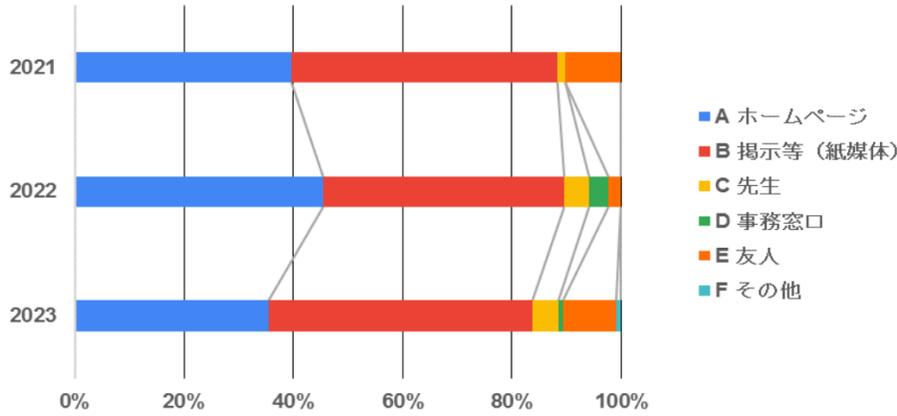


Q15 建設

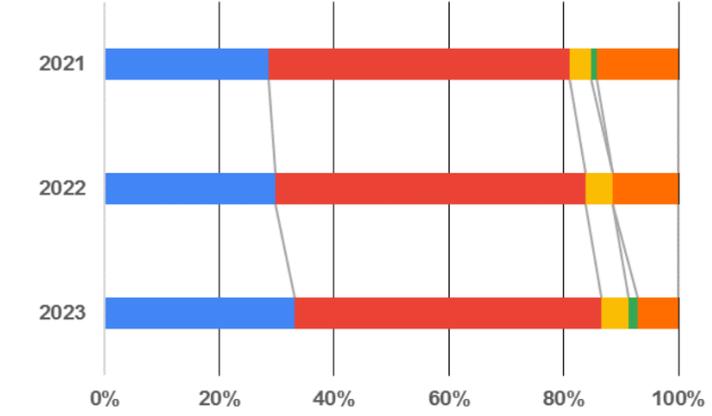


Q16 大学在学中、履修登録期間や講義情報、行事日程等の情報を何から得ていましたか

Q16 総合機械

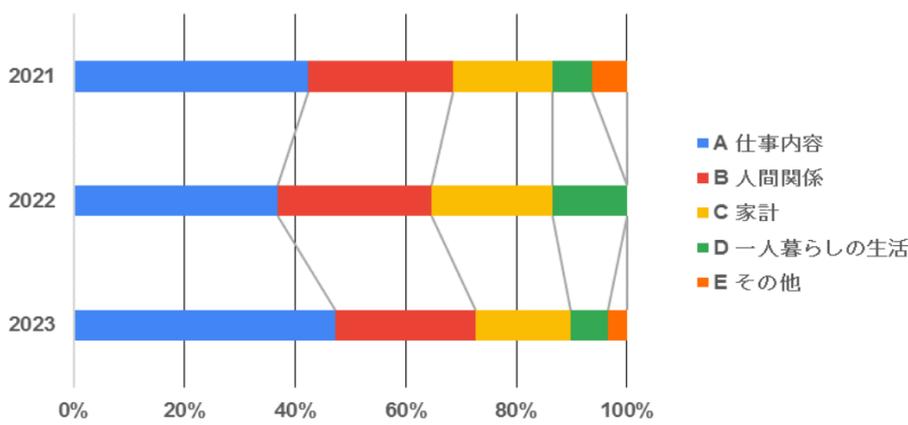


Q16 建設

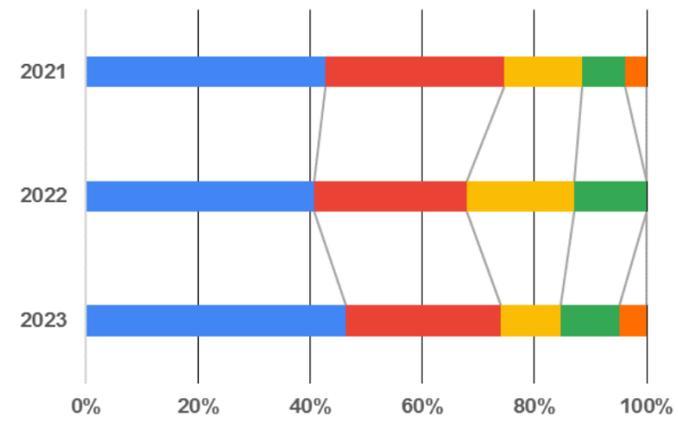


Q17 現時点（卒業時）の不安は何ですか（複数回答可）

Q17 総合機械

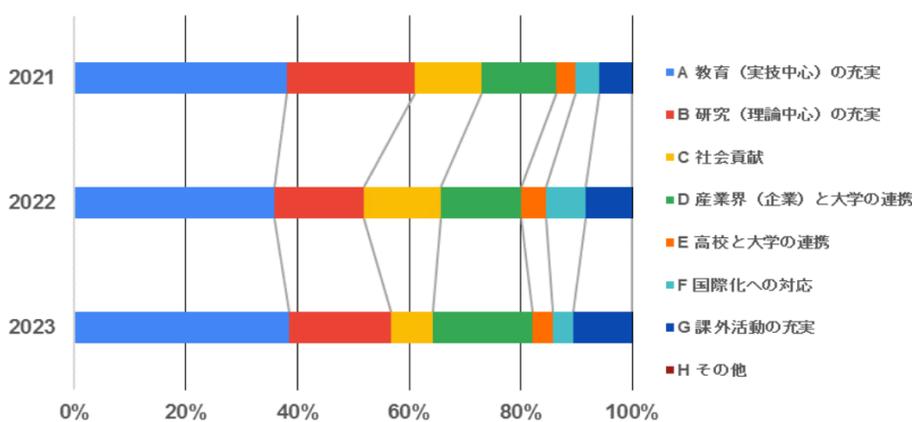


Q17 建設

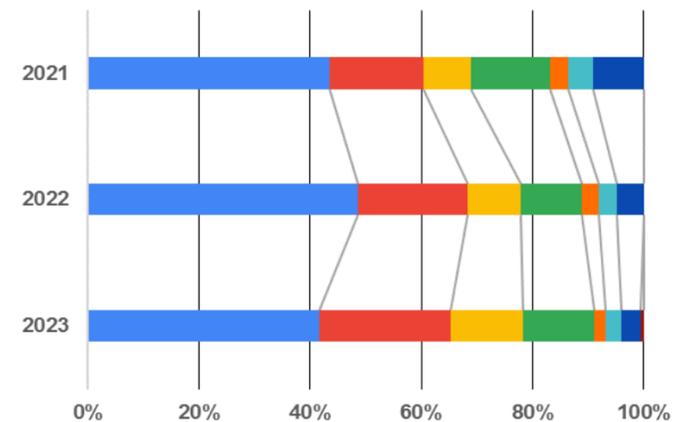


Q18 本学の特色として期待することは何ですか。（複数回答可）

Q18 総合機械

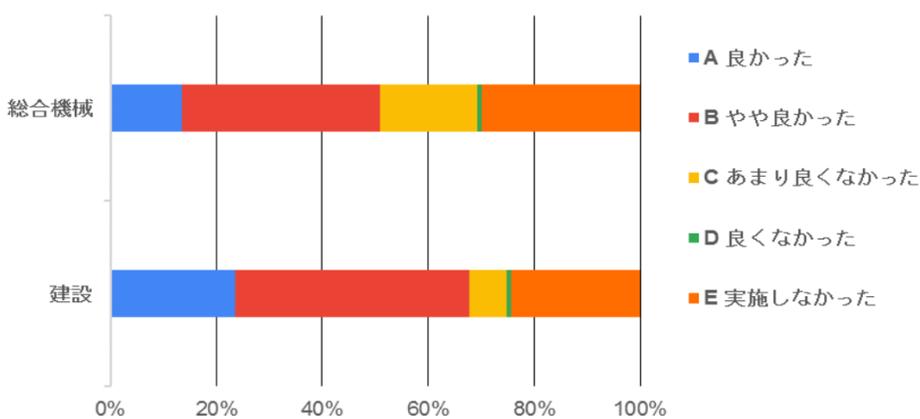


Q18 建設



Q19 ルーブリックが実施された科目について、学修成果は確認できましたか

Q19 両学科



Q20 Q19で回答した理由をお聞かせください

A 「良かった」と回答した主な記述

【総合機械/製造】

- ・ルーブリックによる基準があり より早くフィードバックできたから
- ・成績の目安になったから
- ・自分のパフォーマンスの質を評価するためのツールとして活用できた
- ・省みることが出来たから
- ・目的を明確にして活動できた

【建設】

- ・自分が今どのような状態なのか確認できたため
- ・授業が終わると、先生から学生の作品評価がもらえる、自分の足りない部分がわかります。この点は非常に良いと思います。
- ・自分がどの程度の学習成果を果たせたのか目視できるため
- ・学習目標と到達目標が明確に意識できて、目指すところがわかった
- ・先生からの評価と自己評価の差異を知ることが出来たから

B 「やや良かった」と回答した主な記述

【総合機械/製造】

- ・講義ごとの目標を再認識しやすく何を意識して取り組めばよいかのわかりやすい点は良いが、初回の講義で用紙を渡されて最終回で提出しなければいけない点が面倒だと思いました。
- ・ルーブリック通りにはいかないところもあったが全体を通してよくできたと思う
- ・なぜその評価なのか理解できたから
- ・自己評価と実際の成績に相違点があった
- ・学習状況を見つめなおす機会にはなったから

【建設】

- ・目標や自分の評価を客観的に行うことができた
- ・実施された科目は明確な目標で授業に取り組むことができたため、受講中の不安が無くなった
- ・自分がどれだけその授業に打ち込んだかを確認できるため、有意義だと感じた
- ・自身でも評価を行うことで反省・改善すべき点が見つけやすくなり、より深く学習することができたため
- ・自分で評価と先生の評価を比べることができ理解の度合いがわかったため

C 「あまり良くなかった」と回答した主な記述

【総合機械/製造】

- ・学生自身が自己評価を行っても正しい学習成果が確認できるとは限らないため、自己評価のルーブリックに加え、成績を評価をする先生から生徒に対するルーブリックがあるとより良いと思う。
- ・活用した授業や活用してない授業で分かれていて、参考にしにくかった
- ・実施している授業が少なかったので判断出来ませんでした
- ・ルーブリック…自己評価してそれが成績にどう反映されているのかわからない
- ・正直に話しますと、どの授業で行われたかわかりません。

【建設】

- ・目的とする成果を得ることが出来なかったため
- ・授業の時間だけでは達成目標に到達しているか自信が持ちづらいため
- ・あまり活かすことができなかった
- ・良いとも悪いとも言えないから
- ・そんなに使ってないです

D 「良くなかった」と回答した主な記述

【総合機械/製造】

- ・あまり、変わりがないように感じられた

E 「実施しなかった」と回答した主な記述

【総合機械/製造】

- ・やった覚えがない
- ・実施していない(記憶に無い)
- ・ルーブリックがわからない
- ・そもそもまじめに書いてない
- ・ルーブリックが実施されている授業を履修していなかった

【建設】

- ・実施していないため
- ・受けた記憶がない
- ・ルーブリックがなにか理解していないため
- ・活用していなかった
- ・記憶にない

Q21 今後のものづくり大学に期待することは何ですか。(全回答)

【総合機械/製造】

- ・留学生が多かったので留学生への充実した対応など
- ・設備拡大と設備の使いやすさの改善
- ・勉強制度
- ・実習
- ・大学内にある設備や環境をより活用してより多彩な技術やスキル習得が行える環境になることと、両学科で共通の実技などで製作物を作るなどの交流を行える事
- ・本部棟1階事務窓口の対応の改善
- ・世界的に名の知れる大学になってほしい
- ・印刷機を増やして欲しい
- ・もっと質の高い英語教師を連れてくるべきだ
- ・学食を安い美味い量を良くしてほしい
- ・将来、ものづくり以外の大切さ。社会に出て自分で働く際の必要なことを教える
- ・技術者の発展
- ・学生の活動の応援
- ・学生と教授の距離が近くなるような行事の実施を期待しています
- ・技術力の育成(テクノロジスト)をアピールして、頑張ってもらいたい
- ・コロナであまり先輩後輩と関係を持てなかったので上下でよりかかわれることを期待する
- ・就職後の相談
- ・学費を減らすこと
- ・より多くの立派な学生を育成して、社会の発展に新たな力を提供することができると思います
- ・ますますよくなりますように
- ・総合機械学科のカリキュラムに戻す プロジェクト活動へのさらなる支援 プロジェクト棟の増築 フォーミュラ用の走行場所
- ・実技に使用する機材をもっと使わせて欲しい
- ・実技
- ・学費無料
- ・スクールバスがあると非常に便利だと思いました
- ・偏差値の上昇
- ・地域の貢献性や教育の進化
- ・実習に力を入れて欲しい

- ・ 教員の意欲
- ・ 技術をもっと深く教えてもらいたいです
- ・ スクールバスの実装
- ・ 就職に強い大学であること
- ・ 協力
- ・ 今後も今までのように設備が充実し知識、技術を身につけられる学校であってほしいです。また、大学も創立20年を超えましたので、もう少しOBの人も参加できるプログラムもしくは行事などを増やしていくのも良いかもしれません。
- ・ ロボコンやフォーミュラーでの活躍を期待しております
- ・ 技術系科目の充実
- ・ インターンシップ
- ・ 実技を増やして欲しい
- ・ 後輩の姿を見ていて、学科名と講義内容に齟齬があるように感じるので方針を統一すると良いと思います
- ・ コースの選択科目をもう少し専門的な知識がつくような授業を期待する。朝日バスが値上がりしたので、スクールバスがあればありがたい
- ・ 大学がつぶれないでほしい
- ・ 就職時のサポートをより広く知れ渡ること
- ・ 学生が豊富な設備を使いたいと思えるような環境作り
- ・ もっといいなる
- ・ 加工実技の科目をもっと受けやすくして実技の時間を多くしたい。
- ・ 学校がもっとよくなることを望みます
- ・ 実験のクラスを増やして欲しい
- ・ これからもこれからも実習を積極的に講義に取り入れていただきたい
- ・ 時代の流れに必要な以上に揺れ動かされることなく、唯一無二の校風を堂々と貫き通してほしい
- ・ 今後大学に入る学生たちが自分がやりたいことが見つかるようなことをサポートできることに期待する
- ・ 旋盤やフライス盤などの加工機を中心とした工作機械を最大限活用した実技、実習を徹底して頂きたいです。現状、本校の充実した設備を十分活用しているように思えません。工業高校出身者だけでなく、普通科出身の学生でも広い選択肢の中から自身の適性を見出して学んでいける稀有な大学だと思います。流行に流されず、もの大の強みを活かした教育を提供し続けて欲しいです
- ・ 実技科目の重点的な学習

【建設】

- ・ 実習科目の充実
- ・ 各々の研究室のブラックなところが直ればいいなと思ってます。
- ・ 留学生のために面倒見る人が期待です
- ・ 実習をもっと詳しく丁寧に
- ・ 留学制度
- ・ 実技
- ・ 入学学生を増やし、多くの人に建築技術の伝達
- ・ 実習の継続
- ・ 学校の食堂と売店を改善する
- ・ 実習の幅広さ
- ・ 日本の技術継続
- ・ 技能を磨ける環境があること
- ・ 色々な科目の授業で沢山の事を教わる事が出来る
- ・ 高校生がものづくり大学に興味を持ってもらうためにもっと学校や広い地域に制作物などを寄付する
- ・ 技術面を重点的にやっているのを続けて欲しい
- ・ 地域をより良くするものづくりを続けてほしい
- ・ 実習の充実
- ・ 企業との連帯
- ・ 在学生、卒業生の社会貢献
- ・ 幅広い知識を得られること
- ・ 実技を学んだ即戦力の育成を継続すること。真面目な学生が割りをくうことがないこと。学生ならではの交流の場を持って欲しい。ものづくり大学ならではの特徴的な学びの継続を期待します
- ・ 就職率です
- ・ 技能取得について
今回の卒計の公共会で感じましたが、ものづくり大学らしさが薄れつつあると思います、全体的にも感じるので現場も知っていて知識もある現実的な設計
- ・ などを今後も残して欲しいと切に思った
- ・ 今の状態で満足してます
- ・ 他の大学にないであろう機材の導入や体験が出来るのにそれを必須科目にして少しでも触る機会を増やしてほしいと思った
- ・ 実技実習にこれからも力を入れてほしい
- ・ より難しいことに挑戦して欲しいと思いました
- ・ 学生を増やすために高校生へのアピール
- ・ 実技科目
- ・ 実習が多さ
- ・ 留年者を出さないこと
- ・ 良い人材の育成
- ・ 建築業界への人員補給
- ・ 学生の心身面のサポート
- ・ 実用性がある前提で、ものづくり大学でしか学べない事、ものづくり大学が最先端である事を増やし、高校生の目指すべき学校となって欲しい
- ・ 卒業研究(設計)の発表方法の改善
- ・ 高校生へのアピール
- ・ ますますのせいちょう
- ・ 実地に近い実習がもっと増えることに期待
- ・ 技術者の育成
- ・ 設計系に強くなる事を期待する
- ・ 日本1
- ・ 卒業を無事に通過したいです。
- ・ 在学中に有資格者が増えることを期待します
- ・ 基礎学力の向上
- ・ これからも技術者の育成にもっと力を入れて欲しい
- ・ 資格情報をもっと発信してほしい
- ・ 働き手の減少が問題視されている建築業界へ経験豊富な人材を輩出して欲しい
- ・ 実技授業の充実
- ・ プレゼン発表する際のPCの接続方法などは事前に学びたいことだと思いました。
- ・ 充実した大学生活を送るためのツールの増加
- ・ 年々、入学する学生が減っているので、建築を学ぶ人を増やして欲しいです
- ・ 1年生から4年生までにかけて段階的なカリキュラムにするべきだと考えます。4年生の段階で1年生の時に学ぶべきだと考える授業内容があったり、もっと下積みがないと分からない授業などがある気がします
- ・ 校舎、周辺施設の一新
- ・ 実習授業の充実